山形県在宅保健活動者連絡協議会
いつわ会
会報
第47号
2026年8月発行
(令和8年)



会長あいさつ

山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会)
会長　吉田　美智子

私は今も普段からマスクを着けています。ある会議で司会をした際、マスクを着けたまま話したところ「聞こえません。マスクをとるか大きい声で話してください。」と注意されたことがありました。もちろん、その時は外しましたが、数年前までは「マスクをしないと怒られる」のが当たり前だったことを思い返します。現在も医療機関はマスク着用必須であり、忘れた方向けに販売もされていますが、街中ではマスクをしなくても悪者扱いされることはなくなりました。

世の中の変化は本当に早く、ついていくのがやっとだと感じる今日この頃です。皆さんも、日々の生活や仕事の中で、同じようなスピード感を肌で感じていらっしゃるのではないでしょうか。最近では「AIが自動で文章を生成してくれる」時代となり、私のつたない文章が恥ずかしくなるほどです。

しかし、どんな時代になっても「変わらないもの」「変えてはならないもの」を大事にしていきたいと考えています。それはいったい何だろうと思いを巡らせたとき、浮かんだのは「人のやさしさ」であり、「気さくに話せる仲間たち」の存在ではないでしょうか。

皆さまがいつわ会の研修会に足を運んでくださることも、そうした大切な場のひとつになっていれば幸いです。いつわ会がこれまで紡いできたこと、そしてこれから未来へつないでいきたいことを「今だからこそ」会員の皆さんとともに考えていきたいと思っています。ご意見をお聞かせください。

令和８年度事業計画

「いつわ会」では会員のニーズに応えた研修会の開催や会員相互の交流、市町村等が行う保健事業の支援をしています。

事業名	日　時
役員会	第1回 令和8年 4月16日 第2回 令和8年 6月 8日 第3回 令和9年 1月
健康まつり等への支援	随時
救護	随時
高齢者地域サロン	随時
会報発行	2回発行予定(8月、3月)
いつわ会研修会	令和8年7月 7日
地区ブロック研修会	6ページ参照
東北地方在宅保健師等会連絡会議(岩手県Web開催)	令和8年12月4日
都道府県在宅保健師等会全国連絡会(動画配信)	令和8年11月下旬
活動状況アンケート調査	令和9年３月

令和８年度いつわ会役員

(任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日)



前列左から　柏倉幹事　山田(あ)幹事　吉田会長
今野副会長　齋藤幹事　三浦幹事
後列左から　小松幹事　竹田幹事　山田(晴)幹事
高橋幹事　須藤幹事　渡辺常任幹事

令和８年度

いつわ会研修会

日 時　令和８年７月７日(火)
場 所　国保会館

今年度の「いつわ会研修会」は、会員33人、会員以外（市町村等）23人、あわせて56人の参加を得て国保会館を会場に開催されました。そのうち 25人はWeb参加でした。





開会のあいさつをする今野副会長と国保連合会の武田事務局長

研修会日程

10:00 開会
あいさつ

10:10 講演
「多職種連携で彩る在宅医療」
講師　訪問診療クリニックやまがた
院長　奥山　慎一郎 氏

11:30 活動報告
「地域における在宅医療・介護連携の取り組み～「ポピー」の活動と住民啓発の取り組み～」
報告者　山形市医師会
在宅医療・介護連携室「ポピー」
副室長　鹿野　詩子 氏

12:00 閉会



研修会の内容から

講　演

「多職種連携で彩る在宅医療」



訪問診療クリニックやまがた
院長　奥山　慎一郎 氏

【講演　概要】

○2019年10月「訪問診療クリニックやまがた」を開業。Happy Mind Challenge（HMC）を理念に、日夜訪問診療を展開。クリニックのスタッフは医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、MSW、ケアマネ、事務職等。

○もしもの時のために、その人が望む医療やケアについて前もって家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合うACP（Advance Care Planning「人生会議」）について、元気なうちから繰り返し話し合っておくことが大事。

○ACPは単に延命治療をどうするかを決めることでなく、その人が望んでいることや大切にしていることなど「生き方」を語ってもらうこと。

参加者アンケートから

・「人生会議」のチャンスはどこにでもあり、心変わりは当たり前。だからこそ、何度でもその人の人生に寄り添う「対話」を大切にしていこうと思いました。

・人生会議のお話を聞いて、改めて家族だったり職場の人だったり、常日頃の会話がとても大切だなぁと思いました。

・現役の病院職・看護職に聞いてもらいたい。現役の時に聞きたかった。

・同じ人、状況に接しても、関係者が同じように受け止めているとは限らないことを今一度認識して共有し、同じゴールに向いて協働していくことの大切さを改めて意識することができました。

・「がんで余命半年と診断されたらみなさんはどこで療養したいですか?」の問いに私は「自宅」を選びました。「では、いよいよ死期が迫っ

た時はどうですか?」の問いに「緩和病棟」を選んでいました。背景や状況によって答えがかわることを実感した瞬間でした。家族が元気なうちから人生会議をスタートしたいと思いました。

・信頼関係は質問ではなく、語ってもらう時間から始まる。沈黙は対話を深める大切な時間。本当の気持ちに寄り添う…等、心に残る言葉が多かった。現場で活用していきたい。個人的にもっと「人生会議」をしてみたいし、継続できれば良いと感じた。

活動報告

「地域における在宅医療・介護連携の取り組み ～「ポピー」の活動と住民啓発の取り組み～」



山形市医師会
在宅医療・介護連携室
「ポピー」
副室長　鹿野　詩子 氏

【活動報告　概要】

○医療介護連携推進事業は平成26年の介護保険法改正により、自分らしい暮らしを人生の最期まで住み慣れた地域で続けることができるようにするため市町村の必須事業として位置づけられた。山形市は市医師会に委託する形で、全国でもいち早く平成27年から事業開始している。

○医療介護連携の推進として入退院支援や連携が円滑に行われるように研修会や情報交換等を行っているほか、ポピーのホームページに地域の医療介護情報の掲載や、住民への啓発活動として講演会等も開催している。

○「もっと気軽に人生会議（ACP）をとらえてほしい」との思いから、健康で元気な人を対象にした「いっぷぐかーど」を山形西部地域包括支援センターと共同で作成。自分の事を話すきっかけづくりとしてサロンの場などで活用し、地域住民へのACP普及啓発を行っている。

参加者アンケートから

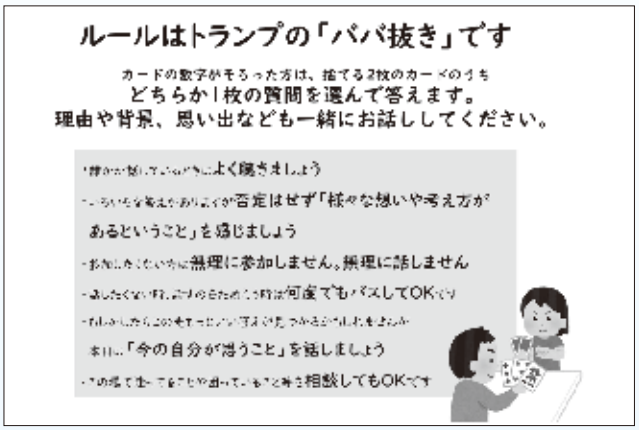
・医療介護の連携について、自分の地域でどんな活動をしているのか確認したいと思った。
・いっぷぐかーどを使用して、人生会議が地域の中で広がっていることは素晴らしい。自分の地域でも活用してみたい。
・いっぷぐかーどいいですね。山形地域以外の市町村のもあると、サロンなどで活用できるのでは…と思いました。
・また機会があれば、いっぷぐかーどのお話や、利用しているところを見たいと思いました。
・村山地域ばかりでなく県全体に広がればいいと強く思いました。

いっぷぐかーどのご紹介

奥山先生から、元気なうちから人生会議（ACP）を行うことが大事との話がありました。参加者アンケートでも関心が高かった「いっぷぐかーど」についてご紹介します。

カードは、A5サイズで、ラミネート加工されており、トランプと同じようにハートやスペードなどのマークと数字が書かれています。

カードには「最近泣いたり笑ったりしたごどおしぇでけろ」「にぎやかなのど静かなのどっちすぎだ?」という日常的なことを尋ねる質問から、「いよいよごはんや水がのどを通らなぐなったらどうすっだい?」という人生の最期に触れる質問までさまざまなことが山形弁で書かれています。話したくないときに使う「話すっだぐないんだずぅ」のカードもあります。鹿野さんから提供いただいたスライドでご紹介します。



今回の研修会では、時間の都合で実際の使い方まで体験することができませんでした。人生会議（ACP）について引き続き学びたいという意見を複数いただきましたので、いっぷぐかーどの模擬体験など、今後の研修会等で取り上げることを検討したいと思います。

なお、「いっぷぐかーど」は、ポピー等で貸し出しが可能だそうです。関心のある方や、使ってみたい場合はいつわ会事務局まで御一報ください。



令和7年度「いつわ会会員活動アンケート」集計結果（抜粋）

Ⅰ 調査期間　令和8年2月から3月
Ⅱ 配布数254　回答数143　回収率56.3%
Ⅲ 調査結果

1 令和7年度に行った保健活動内容（複数回答）

市町村保健事業関係　3,043回／年　84人

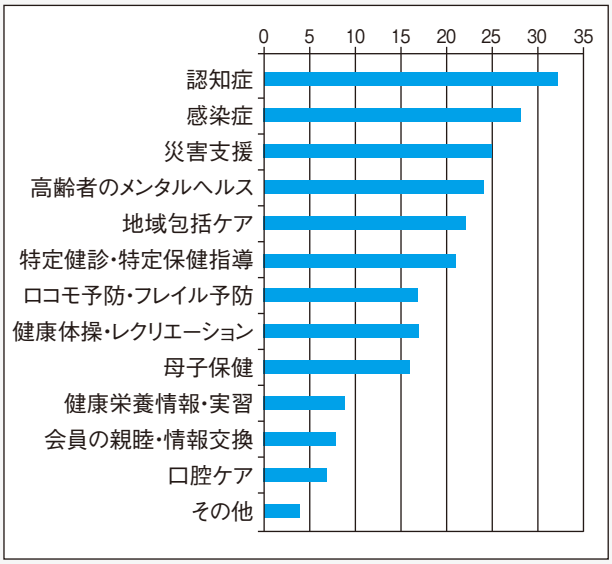
1位　乳幼児健診・母子歯科事業など（31人）
2位　介護保険関係（22人）
3位　保健指導・健康教育（20人）

その他（地域・施設）　2,399回／年　68人

1位　地域での支援・ボランティア（40人）
2位　民生委員等地域の委員（19人）
3位　事業所における保健指導等（15人）

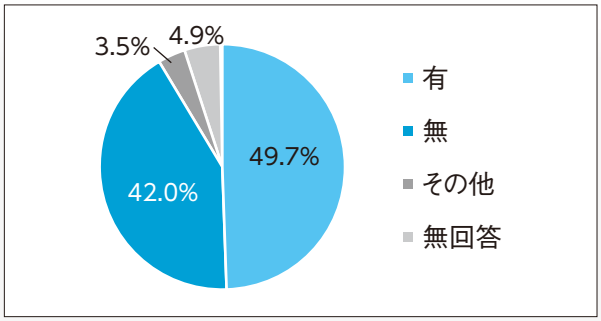
※ 市町村保健事業関係の活動及び地域での支援・ボランティアは前年度よりも延べ回数及び人数ともに増加しました。

2 全体研修会の希望内容について（複数回答）



※災害支援は、今回から追加した項目です。「認知症」の希望が最も多く、「感染症」「災害支援」と続いています。
前回、最も多かった高齢者のメンタルヘルスは4番目となっています。

3 Zoomを使用できる環境



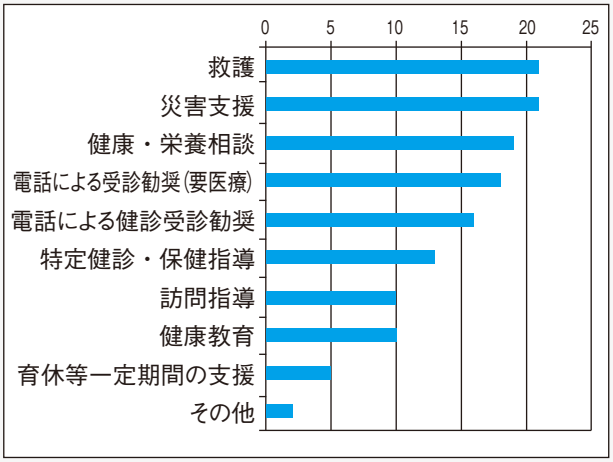
※使用できる環境にある方は約5割でした。

4 市町村等へ支援協力について

協力できる	50
協力できない	65
その他	24
無回答	4
合計	143

※回答者143名のうち、支援協力できると回答があったのは50名でした。

支援協力できる具体的内容は以下のとおりです。



1位　救護（21人）
1位　災害支援（21人）
3位　健康・栄養相談（19人）

※「救護」「災害支援」が同数で最も多く、「健康・栄養相談」「電話による健診受診勧奨（要医療）」「電話による健診受診勧奨」「特定健診・保健指導」と続いています。

5 いつわ会活動への要望、近況等

寄稿は令和８年3月（敬称略）

准看護師　**江見　綾子**

いつわ会に入会させていただいたことでいろいろな分野において大変勉強になりました。個人的なことですが高齢にもなりましたので若い人に入会していただきたいと思い、常にこの会のことを頭におきながら新会員入会の働きかけに協力していきたいと思います。

看護師　**奥村　　秋**

令和7年7月8月にソフトボール東北大会、サッカー県大会が酒田市、庄内町、三川町で開催され救護係を当地のいつわ会会員（養護教諭経験者）が対応しました。熱中症警戒アラートが発令される炎天下での業務は緊張と不安でいっぱいでした。一人体制は無理と判断し、いつわ会からの後押しもあり二人体制で臨むことができ助かりました。医薬品等は現在も中学校に所属している会員の計らいで対応しましたが、個人的な繋がりに助けられた面もあり、今後の課題と思われました。

管理栄養士　**柿崎　明美**

災害支援、受援のあり方がいろんなところで検討されています。いつわ会での対応はどのようになるのか。経験豊富な人材がそろっているので、いざという時にスムーズな活動ができる準備が必要かと思います。

助産師　**景澤志津子**

若年性認知症の講演会は非常に参考になりました。初めて聞いた電子タブとかは今後役に立つ情報でした。質疑応答ではなく後で直接お話ができて良かったです。興味深い内容の企画をしていただきありがとうございます。

看護師　**川村　幸子**

年齢とともに衰えを感じますができるだけ明るく健康に過ごすための知恵･知識を教えていただければ幸いです。

保健師　**今野　和恵**

継続した活動ご苦労様です。新会員加入促進は定年延長や継続雇用など現役での就労を労使ともに必要としている現状では困難なところもありますが、声かけあい取り組むことが必要と感じています。

管理栄養士　**佐藤　　泉**

いつわ会の研修はいつもパワフルで楽しい会話があり楽しく参加しています。今後も楽しく元気の出る活動をよろしくお願いいたします。

保健師　**佐藤さえ子**

地区研修会は継続して開催してほしい。

保健師　**庄司　恵美**

いつも最新の医療保健介護の情報提供していただき大変有難く思います。これから在宅介護をしながら協力できることは限られるところですが社会の動きに関心をもって学び続けていけたらと思います。

保健師　**水上由美子**

昨年は12種類ほどの野菜を家庭菜園して他の人におすそ分けしたりもちろん自分でも料理して満足でした。まだ経験不足でうまく育てられない作物もありましたが形が悪くても安心して食べられるのはありがたいです。自家生産の大豆で味噌も仕込みました。丁寧な暮らしが今年の目標です。

看護師　**鈴木　京子**

“一期一会”昨年11月初めて県庁でお会いした同世代の方が優しく色々話しかけてくださった。一気に緊張がとけた。私と同じく生活衛生のため長く尽力された方でした。2か月後、新聞でその方の訃報を知った。できる限り人の役に立てる人生を送りたいと強く願うばかりです。

保健師　**須藤真由美**

今回役員として関わらせていただき、とても勉強になりました。現職を退くとなかなか新しいことを学ぶ機会や他の職種の方々と交流を持つことが少なくなりますが、いつわ会の活動を通していろんなことを学ぶことができました。ありがとうございます。

保健師　**高橋　照美**

令和7年新入会員が5名もあった(最上地区）のはうれしいことです。役員の努力だと思います。ありがとうございます。

管理栄養士　**田宮　光子**

ブロック研修会の資料、大変勉強になりました。地域の高齢者の通いの場での調理実習･フレイル予防講話等の活動をしております。

保健師　**長岡　静子**

昨年6月から町の保健師として週4日働いています。何十年ぶりに赤ちゃん訪問、乳幼児健診、高齢者の健康教室等ドキドキしながら心地良い緊張感を味わっています。

助産師　**山口　節子**

仕事の都合により研修会への参加ができませんがいつわ会報で情報を得ております。毎回楽しみです。関心のある研修会資料が欲しい時、事務局に連絡したところ送って頂きとても嬉しかったです。自身の活動の参考になりました。

保健師　**吉田美智子**

いつわ会の会員でよかったと言っていただけるような活動とは何かを考えている。無理なく皆さんに受け入れてもらえるようになればうれしいのですが…。

（五十音順）

会員の親睦と交流を図りましょう

令和8年度ブロック研修会予告

★ 村山ブロック

日時 **9月2日（水）** 10時～12時
場所 山形県国保会館（寒河江市）
内容 ○講話 「帯状疱疹ってどんな病気？
知って安心、予防の話」
講師 山形大学医学部附属病院
皮膚科医長 助教 齊藤 亨 氏
○情報提供「大人の定期予防接種について」
講師 寒河江市健康増進課 保健師

★ 最上ブロック

日時 **9月25日（金）** 13時30分～15時
場所 最上広域交流センターゆめりあ
内容 ○講話 「いきいき百歳体操・地区サロン活動を
実施して」
講師 前いつわ会会長 水上由美子 氏
○軽体操「からだのゆがみを改善してみませんか」
講師 保健師 須藤真由美 氏

★ 置賜ブロック

日時 **10月16日（金）** 14時～16時
場所 南陽市えくぼプラザ
内容 ○講演 「こころ健やかに暮らすコツ
～アンガーマネジメントとよりよい
コミュニケーション～」
講師 医療福祉法人二本松会かみのやま病院
公認心理師・臨床心理士 佐藤秀実 氏
○ゲームでリフレッシュ!
「サロンでやってみたら…（？）」
いつわ会置賜ブロック幹事

★庄内ブロック

日時 **10月9日（金）** 13時30分～15時
場所 なの花ホール研修室（三川町）
内容 ○講話 「慢性腎臓病を知ろう」
講師 腎臓病療養指導士
百瀬 幸 氏
○体験発表

他ブロックの研修にも参加可能です。御希望の方は、事務局（下記連絡先）までお申し込み下さい。

会員の状況

会員数 248名
（令和8年7月1日現在）

職種・地区別

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保 健 師	41	16	15	24	96
助 産 師	14	0	1	5	20
看 護 師	17	8	14	32	71
准 看 護 師	3	1	2	0	6
管理栄養士	8	5	4	5	22
栄 養 士	2	1	2	0	5
歯科衛生士	13	3	9	3	28
合 計	98	34	47	69	248

年齢構成（平均年齢 69.9歳）

年齢階層別	人数
40歳未満	0
40～49歳	4
50～59歳	11
60～69歳	108
70～79歳	102
80歳以上	23
合 計	248

お知らせ

特定保健指導従事者研修会は11月2日(月)運動指導をテーマに山形県看護協会会館で開催予定です。活動アンケートで通知希望の方等に御案内予定です。また、第67回山形県国保地域医療学会は、11月21日(土)にホテルメトロポリタン山形で開催予定です。ぜひ御参加ください。

会員募集

入会費・会費無料

あなたも楽しく活動してみませんか?

今までの専門職としての経験を、
自分の住んでいる地域の健康づくりに
役立てましょう。
お知り合いの方にぜひ御紹介を
お願いします。

申し込み、問い合わせは、事務局連絡先まで

事務局
〒991-0041
山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 国保会館内
山形県国民健康保険団体連合会 事業推進課保健事業係
TEL 0237-87-8002
FAX 0237-83-3353

印刷 コロニー印刷